

# 会員への情報提供と若手研究者に対する支援

□ホクレン一〇〇年史編纂支援業務に係る研究班会議

(七月六日、八月一日)

ホクレンから受託した課題の、研究班会議を開催しました。

□北海道農業公社委託事業研究班会議

(七月一四日、八月一七日、九月一五日)

今年度、北海道農業公社から受託した課題について、テーマ別に研究者が同席して打ち合わせを行いました。

□「平成二九年度事業計画説明会」の開催 (七月一九日)

(1) 北農五連幹部職員を対象に説明会を開催し、業務推進状況を報告しました

(2) 説明会終了後、講演会を行いました。

①演題…「米韓FTAが韓国農業に与える影響と今後の日韓関係の在り方」



[事業計画説明会]



[事業計画説明会後の講演会]

②講師…柳京熙(ユウ・キョンヒ)教授(酪農学園大学・食と健康学類)

③この講演内容は、本号の「研究所だより」に掲載していません。

□北農五連委託事業研究会議

(七月二六日、八月二一日、九月二六日、九月二八日)

今年度、北農五連から受託した課題について、テーマ別に研究者が同席して打ち合わせを行いました。

□自主研究「准組合員問題に関する調査研究」研究会議

(七月二六日・九月二六日)

研究者が同席して、研究会議を開催しました。

□自主研究「農村生活史・農協による生活インフラの形成と課題に関する調査研究」研究会議

(九月五日)

研究者が同席して、研究会議を開催しました。

□「平成二九年度出版助成事業に係る選考委員会」の開催

(九月二一日)

(1) 若手研究者の育成支援事業として取り進めており、慎重な検討を経て助成が承認されました。

(2) 助成対象出版書籍

- ①書籍名 (仮)「宮農経済事業イノベーション戦略論」
- ②申請者 柳京熙教授(酪農学園大学)他二名
- ③出版期日 平成三〇年三月(予定)

(3) 選考委員会の選考理由

本書の目的は、二〇一六年四月に施行された改正農協法をはじめ、農協を取り巻く環境の変化に対して、農協という組織の理念や使命を的確に果たし続けてゆく為の、宮農経済事業の理論構築を行うこととしています。が、代表的な国内の二農協の事例を踏まえて、新たな農協像の展望を描き、「農産物マーケティング論」として提示したことを評価し、併せて、中堅・若手クラスの執筆者の今後の研究活動に期待して、出版助成の対象とするよう推薦しました。

□今後の予定

- (1) 第二四回日韓シンポジウム・第十一回東アジア国際農業シンポジウムへの参加(一〇月二二日～二五日)
- (2) 第四回理事会の開催(期日は未定)
- (3) 農業総合研修会の開催(地方都市での開催を検討しています。期日は未定)。

